

日本工学院専門学校
学校関係者評価委員会
委員長 桂田 忠明

【 学校関係者評価委員会・評価結果 】

本年度は 9 月 11 日に学校関係者評価委員会議を実施した、委員会の中で貴校が行った令和 6 年度の自己点検の評価についてすべての項目において了承を得た。

評価委員からの主な発言は次のとおりである。

【教育理念・目標】・【学校運営】

- ・「専門力+人間力」を兼ね備えた、「若きつくりびと」の育成を明確に掲げ、教育環境・学習支援・地域連携をバランスよく実践している点が評価でき、教育理念を元に時代に即した学校運営が行われています。
- ・建学の精神・教育方針・教育目標ともに素晴らしいものです、移り行く時代に合わせた目標となっているように見受けられます。

【教育活動】

- ・単位制への移行の流れがあるが、大学と差別化した専門学校の教育を第一に社会の変化に対応しながら教育の質と社会的存在感を高めていくことに期待します。
- ・充実した教育プログラム等が高い就職率、少ない退学率につながっていると思います。
- ・より優れた施設、設備を設けられており、学生にとって恵まれた環境だと思います。

【学修成果】・【学修支援】

- ・社会情勢をふまえ、ICT 環境の充実、Web 面談室の設置等の環境整備を図り、ハード面から授業の充実に努めています、学園全体の教育環境は大変良いと思います。

【学生支援】

- ・留学生数が増加するなかで、留学生の多国籍化、在籍増加に対する新たな取り組み、受け入れ態勢、教育環境の整備が必要と思われます、それにより文化交流のさらなる充実が期待できると考えられます。
- ・国際交流サロンを利用し、留学生への支援を積極的に行うなど、様々な取り組みを行っています。
- ・ヘルスサポートセンターを充実させ、心身ともに学生の健康面をサポートしています。学生のヘルスサポート、メンタルケアは社会全体の問題ですが、本学園では大変良い対応をしていると思います。多様な学生一人一人に向き合い、取りこぼさない工夫や体制作りなど、これからも弱い立場の方への目くばせをお願いします。

【学生の受入れ募集】

- ・テクノロジーカレッジの入学者減少に対しても、課題を捉え、解決に向け、取り組まれています。また、募集活動にも力を入れてください。

【財務】【法令遵守】

- ・多岐にわたり、安定かつ時代に沿った学校運営を行っています。

【社会貢献・地域貢献】

- ・大田区と当会の事業にご協力いただきありがとうございます。大田区蒲田にこのような素晴らしい専門学校があり、規律正しい学生の方々が生活されていることで、蒲田の雰囲気にも変化を感じます。
- ・校友会の活性化など学生への支援は十分に行われています。

【その他】

- ・新しい学科の新設にも期待していますが、新学科創設のスクラップ＆ビルドの際には教育理念と整合性を見ながら実施してほしい。
- ・学生の方々の行動が学校の印象となると思いますので、行動指針の策定、徹底を進めてください。
- ・限られた学内リソースを使用し、学内で実施しているスポーツフェスティバル(体育祭)は日常の授業以外においても、学生の成長のために創意工夫を図っています。部活動などにもより支援をしていただければ、学生生活もさらに充実すると思います。
- ・今後、若者が減少していく中で、学校運営は大変な時期を迎えていますが、大学進学が当たり前になりつつありながらも専門性を身につけられる専門学校は即戦力として企業で必要とされる人材を育てていると思います。

評価項目	適切：4、ほぼ適切：3、 やや適切：2、不適切：1	備考
1. 教育理念・目標	4	
2. 学校運営	4	
3. 教育活動	4	
4. 学修成果	4	
5. 学生支援	4	
6. 教育環境	4	
7. 学生の受入れ募集	4	
8. 財務	4	
9. 法令の遵守	4	
10. 社会貢献・地域貢献	4	

自己評価について、すべてこれらの通りであり納得した、この内容にて了承する。

以上

令和7年9月30日

日本工学院専門学校
学校関係者評価委員会
委員長 桂田 忠明 様

日本工学院専門学校
校長 中村 英詞

令和6年度の学校関係者評価委員会において討議された学校評価、誠にありがとうございます。
多岐にわたる貴重なご意見を拝読し、本校の取り組みが外部の方から評価されていることを改めて
認識し、大変うれしく思います。

全体として本校の教育理念、実践的な教育、学生支援、地域貢献に対する本校の取り組みが高い評
価をいただく一方で、少子化による若者の減少、テクノロジーカレッジの入学者減少、多様化する学
生層への対応方法など未来を見据えた課題もいただきました。

頂いた貴重なご意見・内容は本校の未来を考える上で貴重な羅針盤となります。これらのご意見を
真摯に受け止め、今後も「専門力+人間力」を兼ね備えた「若きつくりびと」の人材育成に取り組み
つつ、社会の変化に対応した本校ならではの教育を邁進していきます。

1. 社会のニーズに対応するため、今後も新設学科の検討を継続的に行っていきます。単位制移行の
流れや新学科創設につきましては専門学校独自の教育理念との整合性を保ちつつ、社会の変化
に対応していく事への期待が寄せられているものと思われます。本校が今後も教育の質をさら
に高めていくための検討を継続して行っていきます。
2. 留学生の増加、多国籍化に対して、受け入れ態勢、環境整備を進めていきます。留学生増加に伴
い、受け入れ態勢と教育環境整備が今後の課題として指摘されています。多国籍交流文化のさら
なる充実をはかり、継続的に改善を試みていきます。国際交流サロンのサポート体制も引き続き
行っていきます。
3. 第一志望の学校に選ばれるため学生満足調査を引き続き実施し、問題点の洗い出しを行い、満足
度の向上を図ります。学生の行動が学校の印象に繋がるというご指摘は教育の一環として行動
指針の策定と徹底が重要と認識しております。学生満足度の向上、学内イベント、クラブ活動の
支援も引き続き行っていきます
4. 多様な相談内容に応えるため、教職員、ヘルスサポートセンタースタッフの研修等を継続的に行
い、よりきめ細かな対応が実施できるよう充実させていきます

以上